

# モビリティ革命の先にあるゲームチェンジ

株式会社MaaS Tech Japan 代表取締役 日高 洋祐



実学習時間

4h

難易度

★★

受講料

¥11,000

税込

## 学習目標と狙い

MaaSの概要とともに、他の産業への影響、日本のベンチャーの取り組み、どのようなビジネスチャンスがあるのかについて学ぶ。

新入社員 **すべての階層で共通するコンピテンシー** (イノベーション) 経営職

近年話題になっているMaaSの概要を理解できたとともに、様々な企業事例についてもわかりやすく学ぶことができ、とてもよかったです。

## 学習プログラム

PDU

4

- 第1回 Mobility as a Service ～移動の変革から見た産業と街づくりの変化～  
ゲスト：牧村 和彦氏（一般財団法人 計量計画研究所 理事）
- 第2回 Society 5.0 産業政策からみたMaasとその展望  
ゲスト：須賀 千鶴氏（世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター長）
- 第3回 世界のモビリティ最前線  
ゲスト：安永 修章氏（ROOTS Mobility Japan 代表）
- 第4回 日本発の新モビリティビジネスとその挑戦  
ゲスト：高原 幸一郎氏（株式会社NearMe代表取締役社長）  
北島 昇氏（株式会社電脳交通 取締役COO）

### 【概要】

モビリティ革命「MaaS(Mobility as a Service)」とは、あらゆる交通手段を統合しその最適化を図ったうえで、快適な移動サービスを提供する新しい概念です。MaaSを構築する過程で集まる膨大な移動ビッグデータおよびそれを統べるプラットフォームをめぐる競争が激化することが予想されています。これまでクルマも鉄道もバスも個別事業者の内に閉じていた移動データが、MaaSに統合されていく中で新たな価値を生み出していくこととなります。

一方で、MaaSによって人々の移動が自由になることで生まれる商機は、移動の「目的」側に位置するすべての産業にあります。例えば、これまで移動が不便だったエリアにMaaSが導入されてスマートに暮らせるようになると、不動産価値の上昇が見込めることとなります。

本講座では、MaaSの概要とともに、他の産業への影響、日本のベンチャーの取り組み、どのようなビジネスチャンスがあるのかについて、ゲストとともに解説いたします。

受講期間

6ヶ月

講義

4回(平均60分)

理解度テスト

なし

演習

なし

チャメール

あり

修了証

あり

修了アンケート

なし

制作年

2020



10641